UG-TECGRA-1306-01

テクノテスター用グラフ作成ソフト

【テクノテスターGraph Ver2.0】

取 扱 説 明 書

● このたびは、テクノテスターをお買い上げいただき、まことに
ありがとうございます。
● テクノテスターGraph Ver2.0 をご使用になる前に、この
「取扱説明書」を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
● お読みになった後は、大切に保管して必要なときにお読みください。

サンコーテクノ株式会社

使用上のご注意

- ご使用の前に、この「使用上のご注意」を必ずお読みになり、正しくお使いください。
- ここには、安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

重 要

○ 本製品はサンコーテクノ株式会社の著作物です。

○ 本製品の複製や改変、加工、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行う事を禁止します。

○ 本製品は弊社テクノテスター専用のソフトウェアです。テクノテスター以外の製品では使用できません。

○ 使用する試験機の取扱説明書もあわせて参照し、危険のないよう注意してください。

目次

１．テクノテスターＧｒａｐｈ Ver2.0 の概要 …… 1
（1）接続ケーブル …… 1
（2）ソフトウェア …… 2
1）メニューモード …… 2
2）測定モード …… 3
3）編集モード …… 4

２．テクノテスターＧｒａｐｈ Ver2.0 のセットアップ …… 5
（1）インストール …… 5
（2）プログラムの起動 …… 5
（3）ヘルプの参照 …… 5

３．基本的な使い方 …… 6
（1）準備 …… 6
1）テクノテスターの準備 …… 6
2）接続 …… 6
3）パソコンの準備 …… 7
4）専用プリンタＭ２５５の設定 …… 9
（2）測定を行う …… １０
1）測定モードに入る …… １０
2）グラフレンジの設定 …… １１
3）測定の開始 …… １１
4）測定の終了 …… １３
（3）データの確認、編集 …… １４
1）データの確認 …… １４
2）試験名称、備考の入力 …… １５
3）レポートの印刷 …… １６
（4）データファイルの保存、読込み …… １７
1）データのファイルへの保存 …… １７
2）データの読込み、結合 …… １７

４．こまったときは… …… １８

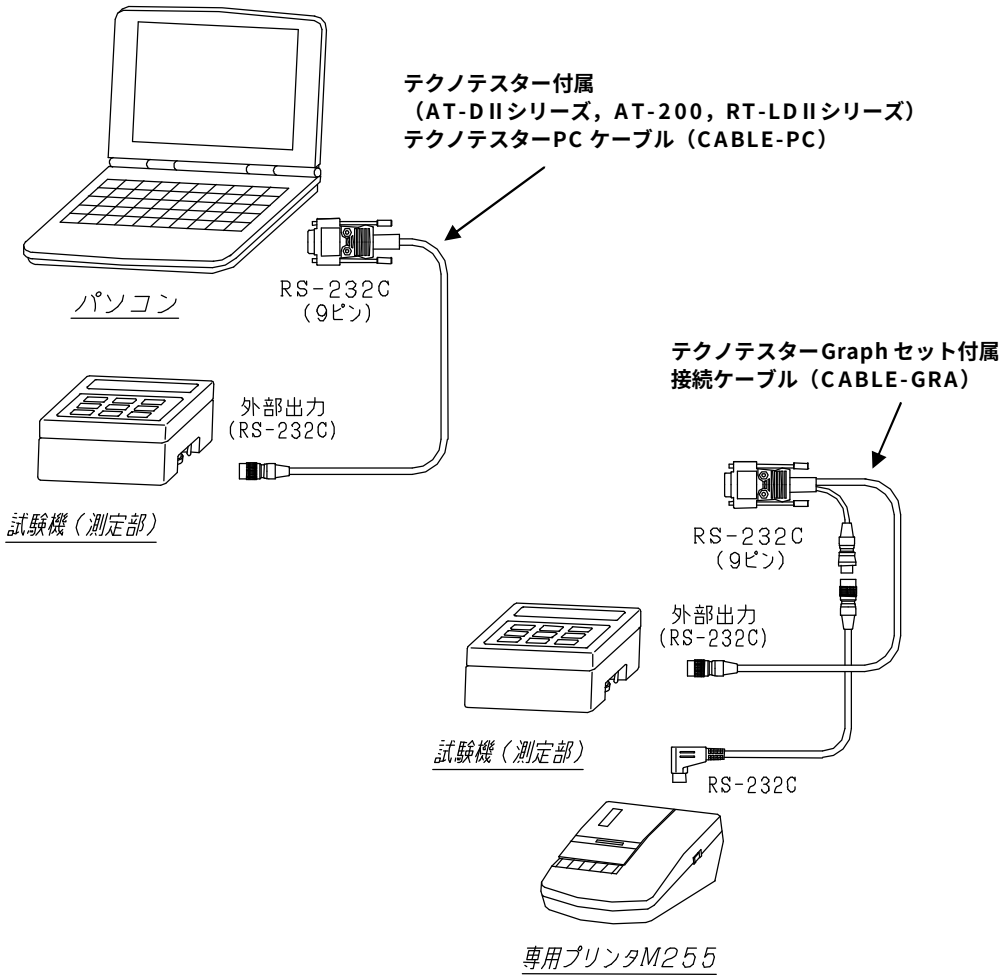
５．保証とアフターサービス …… １９

１．テクノテスターGraph Ver2.0 の概要

（1）接続ケーブル

添付されている接続ケーブルは、テクノテスター（試験機）とパソコンを接続するものです。

- **※ パソコン側にテクノテスターPC ケーブルを差し込むための RS-232C（D-SUB 9 ピン）ポートがついてない場合は、USB シリアル変換ケーブルを使用していただき、USB ポートへ接続してください。**
- **※ USB シリアル変換ケーブルを使用する場合は、USB シリアル変換ケーブルの取扱説明書を参照していただき、ドライバーソフトをインストールしてください。**



（2）ソフトウェア

テクノテスターＧｒａｐｈ Ver2.0 は、テクノテスターシリーズ（試験機）での試験結果のグラフ化をサポートするソフトウェアです。
テクノテスターＧｒａｐｈ Ver2.0 は３つのモードからなり、下のような作業を行うことができます。
機能の詳細はテクノテスターＧｒａｐｈ Ver2.0 のヘルプを参照してください。

１）メニューモード

メニューモードでは次のようなことが行えます。

１．データファイルの保存、読込、結合
２．パソコン－試験機間の通信設定
３．専用プリンタＭ２５５の設定
４．プリンタの設定
５．測定モードへの切替
６．荷重設定値、変位設定値、荷重単位の設定
７．編集モードへの切替
８．蓄積データの並べ替え
９．蓄積データの一括削除

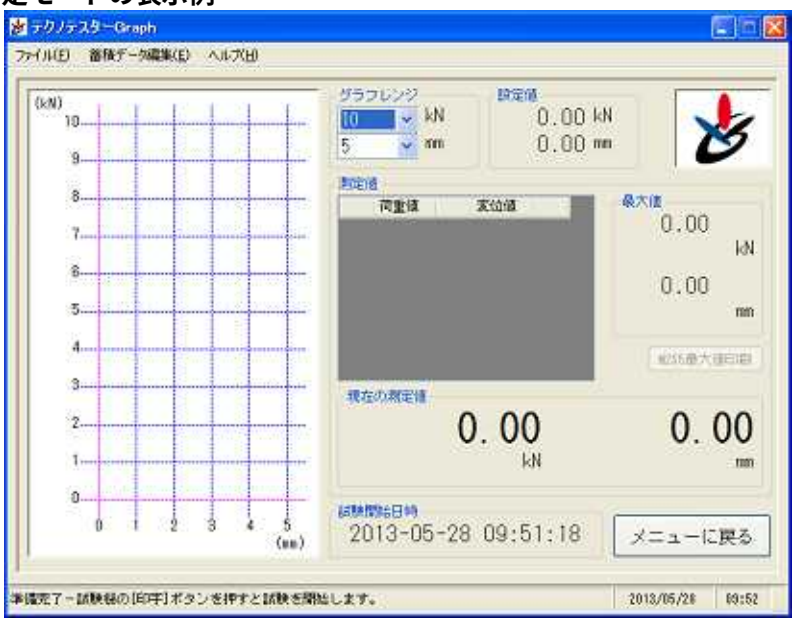
メニューモードの表示例

２）測定モード

測定モードでは次のようなことが行えます。

１．データの測定・蓄積
２．グラフレンジの変更
３．レポートの印刷
４．専用プリンタＭ２５５での印刷

測定モードの表示例

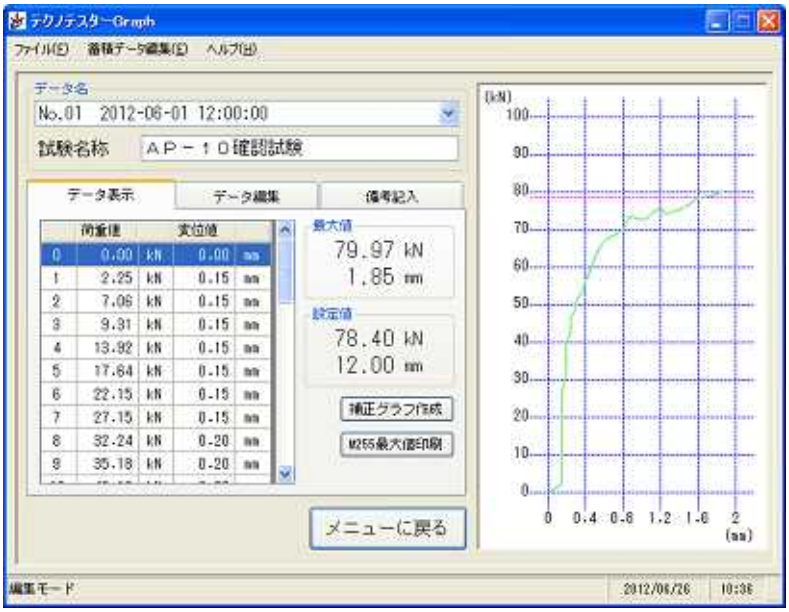


3）編集モード

編集モードでは次のような事が行えます。

1．測定データの表示
2．蓄積データの削除
3．ＣＳＶ形式での保存
4．試験項目の記入
　ａ．試験名称の記入
　ｂ．備考の記入
5．データの編集
　ａ．グラフの補正
　ｂ．グラフレンジの変更
　ｃ．表示データの変更
　ｄ．荷重単位の変更
　ｅ．有効なデータ数の変更
6．レポートの印刷
7．専用プリンタＭ２５５での印刷
8．表示されているグラフのクリップボードへのコピー

編集モードの表示例



２．テクノテスターGraph Ver2.0 のセットアップ

（１）インストール

ＣＤ－ＲＯＭの **setup.exe** を実行すると、セットアッププログラムが起動しますので、指示に従いインストールを行ってください。

また、アンインストールする際は、**コントロールパネルのプログラムの追加と削除**より、**“テクノテスターＧｒａｐｈ”**を選択し行ってください。

（２）プログラムの起動

テクノテスターGraph Ver2.0 は、**［スタート］－［プログラム］メニュー**より**［テクノテスターＧｒａｐｈ］**を選択し実行してください。

（３）ヘルプの参照

機能の詳細はヘルプに記載されています。ヘルプを参照するには、**プルダウン**メニューの**［ヘルプ］－［目次］メニュー**を選択してください。

３．基本的な使い方

（1）準備

1）テクノテスターの準備

① テクノテスター取扱説明書を参照し、試験機の準備を行ってください。

② テクノテスター取扱説明書を参照し、試験機の荷重単位を選択してください。

③ テクノテスターの通信速度の確認

※ 工場出荷時の通信速度は１２００ｂｐｓです。

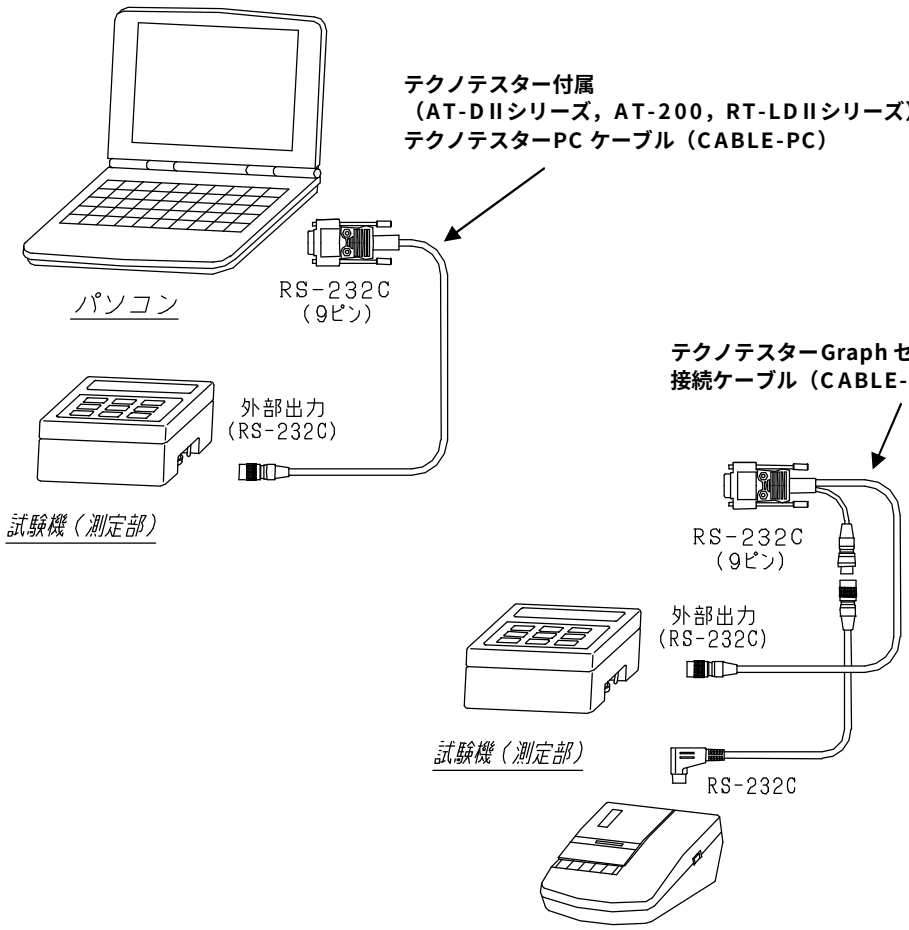
2）接続

下図を参照し、テクノテスター（試験機）とパソコンを接続してください。

また、必要に応じ専用プリンタM２５５を接続してください。

※ パソコン側にテクノテスターPC ケーブルを差し込むための RS-232C（D-SUB 9 ピン）ポートがついてない場合は、USB シリアル変換ケーブルを使用していただき、USB ポートへ接続してください。

※ USB シリアル変換ケーブルを使用する場合は、USB シリアル変換ケーブルの取扱説明書を参照していただき、ドライバーソフトをインストールしてください。



３）パソコンの準備

① 通信ポート、通信速度の設定

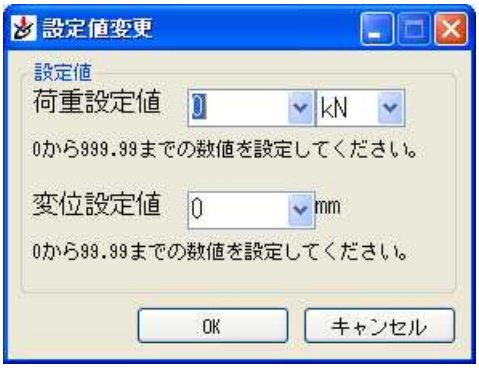
メニューモード画面で[通信設定]ボタンをクリックし通信設定ダイアログを表示させ、お使いのパソコンのＲＳ－２３２Ｃポートに設定を合わせてください。

※ 工場出荷時の通信速度は１２００ｂｐｓです。

② 設定値の設定、変更

メニューモード画面で[設定値変更]ボタンを押して設定値変更ダイアログを表示させてください。

荷重・変位設定値を入力し、荷重単位を選択してください。



※ 設定値は目安や記録となるものであり、測定自体には影響を与えません。
※ 設定値は測定時のグラフレンジに反映されます。
※ 記憶されている設定値は、リストボックスより選択する ことも できます。

設定値が不要の場合は、メニューモード画面の[設定値不要]チェックボックスを ON にしてください。

※　**測定時のグラフレンジは最大レンジになります。**

③ データ蓄積領域の確認

試験測定を行う為に測定モードに入るには、データ蓄積領域の空きが必要です。データ蓄積領域の空きが不足する場合は、プルダウンメニューの［蓄積データ編集］－［データの削除］メニューより［表示データの削除］（編集モード時）か［全データーの削除］（メニューモード時）を行い、空き領域を作成してください。

4）専用プリンタＭ２５５の設定

テクノテスターＧｒａｐｈ Ver2.0 ではＭ２５５（オプション）を用いて、最大値印字モードと簡易グラフ印字モードの２種類の印刷結果を選択することができます。

正しく印刷を行うには、Ｍ２５５の設定とパソコン側の設定を合わせる必要があります。

※　工場出荷時は最大値印字モードに設定されています。
※　設定変更の詳細はヘルプを参照してください。

最大値印字モードの印字例
（工場出荷時の設定）

```
DATE     2013/02/03  15:15
MAX                  2.85kN
                     1.20mm
```

簡易グラフ印字モードの印字例

```
DATE     2013-02-03  15:15
MAX                  2.85kN
                     1.20mm
DATA(up to Max-Load)
          0.00kN      0.00mm
          0.47kN      0.10mm
          0.85kN      0.20mm
          1.42kN      0.30mm
          1.88kN      0.35mm
          2.09kN      0.50mm
          2.17kN      0.50mm
          2.57kN      0.90mm
          2.76kN      0.95mm
          2.85kN      1.20mm

     (x 1.0kN)
5--+---+---+---+---+---+
   |   |   |   |   |   |
   |   |   |   |   |   |
4--+---+---+---+---+---+
   |   |   |   |   |   |
   |   |   |   |   |   |
3--+---+---+---+---+---+
   |   |   |   |   | **|
   |   |   |   | **| * |
   |   |   | ***|  **|
2--+---+---+**+---+---+
   |   |   | * |   |   |
   |   |   | * |   |   |
   |   | * |   |   |   |
1--+---+*--+---+---+---+
   |   | * |   |   |   |
   |  **|   |   |   |   |
   | * |   |   |   |   |
0--*---+---+---+---+---+
   |   |   |   |   |   |
   |   |   |   |   |   |
   0  0.2  0.4  0.6  0.8  1
                      (mm)
```

（2）測定を行う

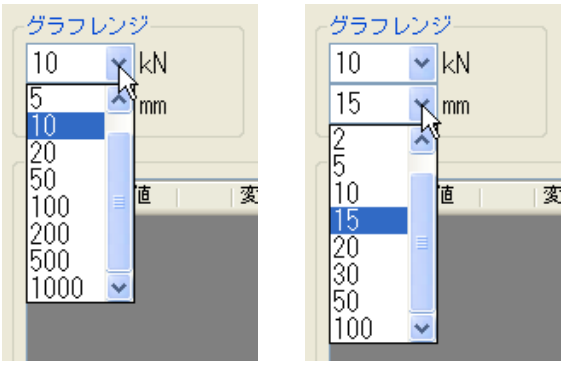
1）測定モードに入る

メニューモードで[測定モードに入る]ボタンをクリックすると測定モードに入ることができます。測定モードに入ると測定を行うことができます。

以下のように警告が表示されているときは、測定モードに入ることができません。それぞれの表示に従い警告を解除してください。

2）グラフレンジの設定

グラフのレンジを試験目的に合わせ選択してください。



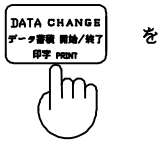
※ グラフレンジは、測定開始前・測定中・測定終了後のいつでも変更可能です。

3）測定の開始

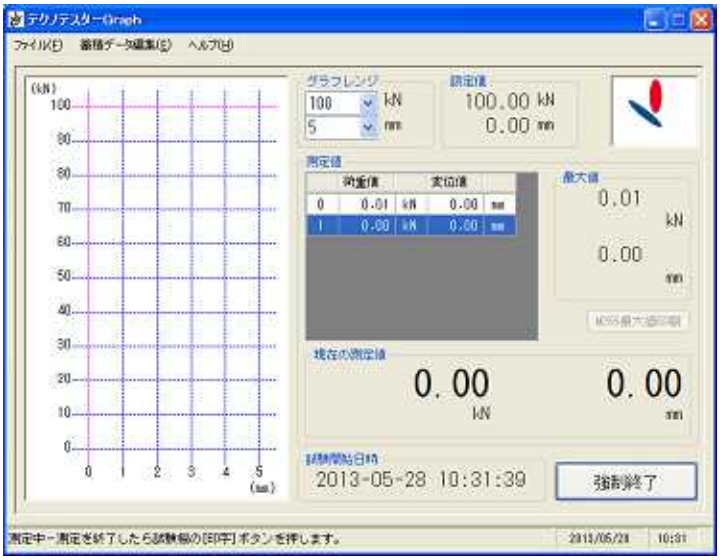
① テクノテスターの取扱説明書を参照し、試験機を正しくセットした後、ゼロ調整を行ってください。

ゼロ調整後の表示例

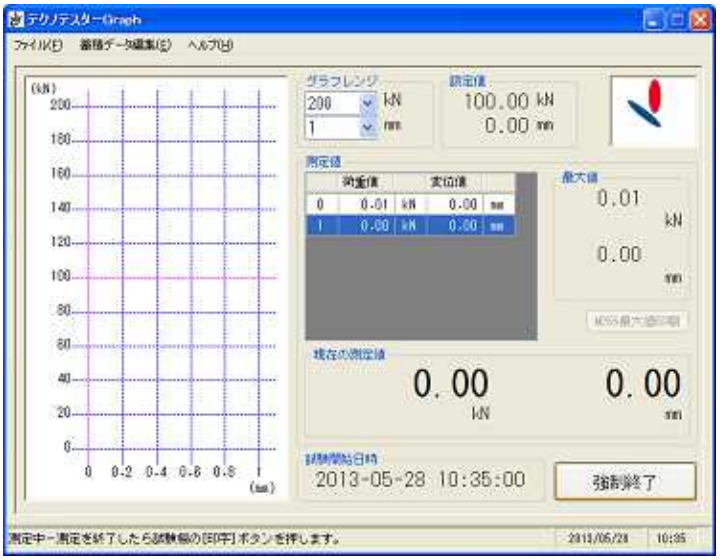
② テクノテスターの［印字］ボタンを押すと、試験開始日時にボタンを押した日時が記録され、サンコーテクノマークが点滅を始め記録を開始します。負荷を加え始めて、試験を開始してください。



を押します。



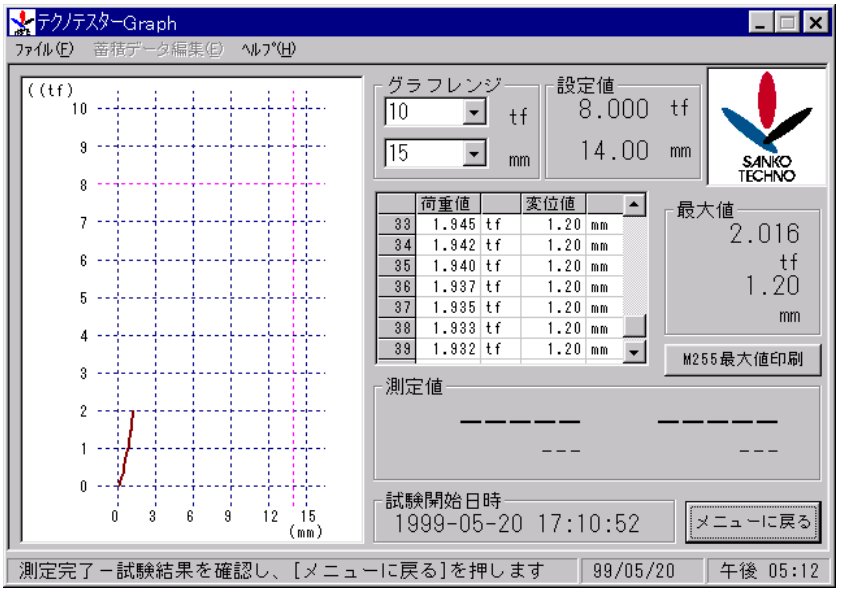
※ 測定中はサンコーテクノマークが点滅しつづけます。



※ 試験を途中で中断する際は、画面上の［強制終了］ボタンをクリックしてください。

③ 試験が終了したら、再び試験機の［印字］ボタンを押します。
サンコーテクノマークの点滅が終わり測定完了を示します。

を押します。



※ 測定を終了すると、**最大荷重値**と**最大荷重値発生時の変位値**が記録されます。
注）最大荷重値は**測定部に記録されているデータ**が適用されます。
最大荷重値のデータが測定値に含まれないことがあります。これは
測定部のサンプリング能力が通信速度より高速なためです。

4）測定の終了

試験結果の確認や印刷が終了したら、画面上の［メニューに戻る］ボタンをクリックします。

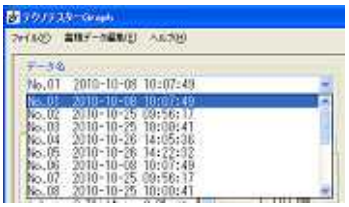
画面の指示に従い、データの蓄積や破棄を行ってください。

（3）データの確認、編集

1）データの確認

メニューモードで[編集モードに入る]ボタンをクリックすると編集モードに入ることができます。編集モードに入るとデータの編集や印刷を行うことができます。

編集モードに入る前に表示したいデータをクリックし反転表示させておくと、選択したデータを表示することができます。

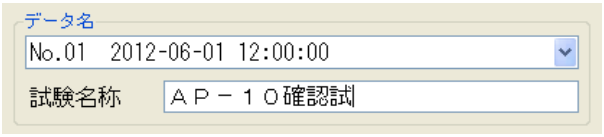


また、編集モードで<u>データ名</u>をクリックすると蓄積データの一覧が表示されます。必要なデータ上をクリックするとデータを切替えることができます。

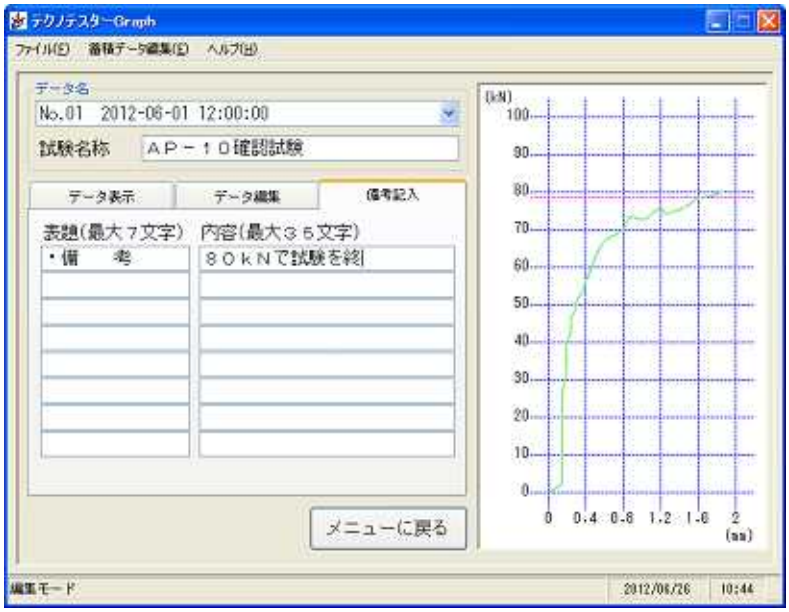
※　編集機能の詳細はヘルプを参照してください。

２）試験名称、備考の入力

データ名内の［試験名称］項目に試験名称を入力できます。試験名称は最大３５文字まで入力できます。



［備考入力］タブをクリックすると、備考を入力できます。備考は８項目まで入力可能で、それぞれ表題が最大７文字、内容が最大３５文字まで入力できます。



３）レポートの印刷

プルダウンメニューの［ファイル］－［印刷］メニューを選択すると、
レポートを印刷することができます。
レポートには以下ような内容が印刷されます。

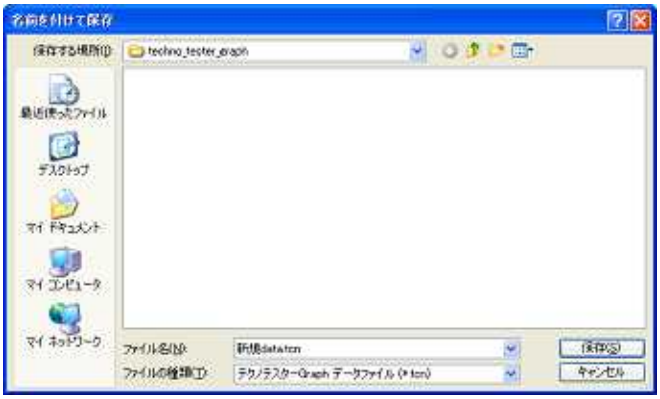
１．試験日時
２．試験名称
３．荷重設定値、変位設定値
４．備考（８項目）
５．荷重最大値と荷重最大発生時の変位値
６．最大荷重値までのデータの抜粋を最大２０ヶ所
７．測定グラフ

※ 補正グラフを作成した場合には、補正グラフが印刷されます。
※ 印刷機能の詳細はヘルプを参照してください。

（4）データファイルの保存、読込み

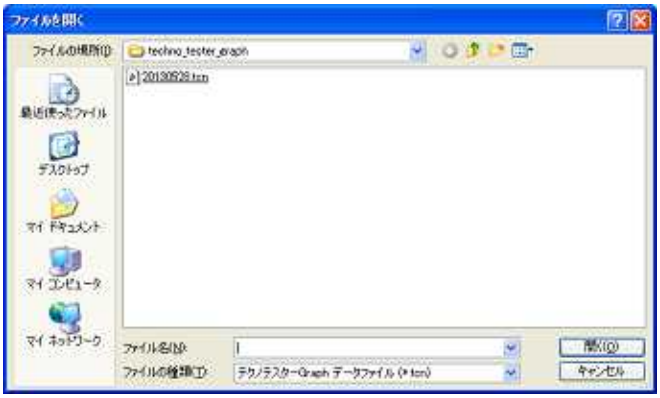
1）データのファイルへの保存

プルダウンメニューの［ファイル］－［試験データ保存］メニューを選択すると、ダイアログボックスが開きます。ファイル名を指定してデータを保存してください。



2）データの読込み、結合

プルダウンメニューの［ファイル］－［新規に開く］メニューまたは、**［ファイル］－［試験データ結合］メニュー**を選択すると、ダイアログボックスが開いて、試験データが開きます。ここでは、データの読込みや結合を行うことができます。ファイル名を指定してデータを選択してください。



※ **［新規に開く］メニュー**を選択すると蓄積されていたデータは全てなくなります。事前にデータを保存しておいてください。

※ データを結合するには以下の条件を満たしている必要があります。

1．蓄積データリストに空き領域があること

2．空き領域の数が、結合されるデータ以上あること

４．こまったときは…

次のような症状のときは、故障ではない場合があります。
修理を依頼する前に、もう一度確かめてください。

こんな症状	確かめてください	対処のしかた	参照項目
接続状態が**「応答ありません」**になっている。	接続ケーブルは確実に接続されていますか？	接続を確認します。	P.6 3－(1)－2)
	測定部の電源スイッチが**「ＯＦＦ」**になっていませんか？	**「ON」**にします	各試験機の取扱説明書
	ＲＳ－２３２Ｃの設定はあっていますか？	設定を確認し、正しい値に設定します。	P.7 3－(1)－3)①
	測定部がオートパワーオフにより、電源が切られていませんか？	再度電源を**「ON」**にします。 (オートパワーオフからの復帰)	各試験機の取扱説明書
	接続ケーブルが断線している恐れがあります。	**この際には、必ず販売店に修理依頼してください**	
接続状態が**「測定部　準備完了」**になっているのに測定モードに入れない。	試験機とパソコンの荷重単位はあっていますか？	荷重単位を合わせます。	P.7 3－(1)－3)②
	蓄積データリストに空きはありますか？	空き領域を作成します。	P.8 3－(1)－3)③
測定途中で**「電源が切れています」**と表示され、測定が中止される。	測定部の電源スイッチが**「ＯＦＦ」**になっていませんか？	**「ON」**にします	各試験機の取扱説明書
	接続ケーブルが外れていませんか？	確実に接続します。	P.6 3－(1)－2)
	測定部の電池は弱っていませんか？	新しい電池に交換します。	各試験機の取扱説明書
	ノートパソコンなどで省電力機能が有効になっていると動作が不安定になる場合があります。	パソコンの省電力機能を無効にします。	パソコンの取扱説明書
	接続ケーブルが断線している恐れがあります。	**この際には、必ず販売店に修理依頼してください**	
Ｍ２５５の印刷がうまくいかない。	接続ケーブルは確実に接続されていますか？	接続を確認します。	P.6 3－(1)－2)
	Ｍ２５５本体の印字モードとパソコン側の設定はあっていますか？	両方の設定を正しくあわせます。	P.9

※ 取扱の詳細はテクノテスターＧｒａｐｈのヘルプを参照してください。

５．保証とアフターサービス

◎保証期間について

製品購入日から 1 年間は、弊社の製造上の問題に起因することが明らかな不良については、無償で製品を交換または修理いたします。

◎保証範囲外の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご依頼により、有償修理いたします。

◎修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときには、補償範囲の内外にかかわらず、できるだけ詳しい不良の症状を、お買い上げの販売店までお知らせください。

メモ

製造元 **サンコーテクノ株式会社**

本 社／〒270-0114 千葉県流山市東初石 6-183-1-301

お客様相談窓口（販売・取扱い）TEL 0120-350-514 FAX 0120-350-571
（フリーダイヤル） 受付時間:祝日を除く月曜日～金曜日 9:00～17:00

サンコーテクノホームページ http://www.sanko-techno.co.jp/

首都圏営業	〒270-0163 千葉県流山市南流山3-10-7	TEL 04-7157-8181	FAX 04-7157-8787
札幌支店	〒003-0012 北海道札幌市白石区中央二条6-4-18	TEL 011-865-6251	FAX 011-865-6256
仙台支店	〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-2-8	TEL 022-236-2533	FAX 022-236-2537
名古屋支店	〒454-0869 愛知県名古屋市中川区荒子2-128-3	TEL 052-355-3501	FAX 052-355-3502
大阪支店	〒578-0956 大阪府東大阪市横枕西6-23	TEL 072-960-7735	FAX 072-960-7737
福岡支店	〒816-0912 福岡県大野城市御笠川4-11-24	TEL 092-587-0188	FAX 092-504-7300
新潟営業所	〒959-1232 新潟県燕市井土巻4-244	TEL 0256-47-1135	FAX 0256-61-2777
横浜営業所	〒240-0002 神奈川県横浜市保土ヶ谷区宮田町1-3-1	TEL 045-340-3517	FAX 045-334-0071
静岡営業所	〒422-8035 静岡県静岡市駿河区宮竹2-3-48	TEL 054-237-0102	FAX 054-237-2917
金沢営業所	〒920-0363 石川県金沢市古府 1-27	TEL 076-240-3535	FAX 076-240-7286
岡山営業所	〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田564-232	TEL 086-296-8031	FAX 086-296-8130
広島営業所	〒730-0844 広島県広島市中区舟入幸町16-15	TEL 082-294-3308	FAX 082-294-3306
高松営業所	〒761-8044 香川県高松市円座町391-5	TEL 087-885-7431	FAX 087-885-7430
鹿児島営業所	〒892-0836 鹿児島県鹿児島市錦江町8-53	TEL 099-225-8311	FAX 099-225-8328
ﾘﾆｭｰｱﾙ工事部	〒270-0163 千葉県流山市南流山3-10-7	TEL 04-7157-7735	FAX 04-7157-8835
広島事業所	〒731-5128 広島県広島市佐伯区五日市中央5-2-50	TEL 082-943-7200	FAX 082-924-1235
ﾏﾃﾘｱﾙ営業部	〒270-0163 千葉県流山市南流山3-10-7	TEL 04-7157-9935	FAX 04-7157-9700
流山事業所	〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-44	TEL 04-7152-5111	FAX 04-7155-1684
野田工場	〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬2490-3	TEL 04-7198-1711	FAX 04-7198-3733
奈良工場	〒630-8452 奈良県奈良市北之庄西町2-2-3	TEL 0742-62-4581	FAX 0742-62-4583
中央物流ｾﾝﾀｰ	〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-44	TEL 04-7153-8611	FAX 04-7152-7877
西部物流ｾﾝﾀｰ	〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田564-232	TEL 086-296-8317	FAX 086-296-8052

UG-TECREPO-0907-03

テクノテスター報告書作成支援ソフト

【テクノテスターReport】

取 扱 説 明 書

- このたびは、テクノテスターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- テクノテスターReport をご使用になる前に、この「取扱説明書」を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、大切に保管して必要なときにお読みください。

サンコーテクノ株式会社

使用上のご注意

- ご使用の前に、この「使用上のご注意」を必ずお読みになり、正しくお使いください。
- ここには、安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

重 要

○ 本製品はサンコーテクノ株式会社の著作物です。

○ 本製品の複製や改変、加工、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行う事を禁止します。

○ 本製品は弊社テクノテスター専用のソフトウェアです。テクノテスター以外の製品では使用できません。

○ 使用する試験機の取扱説明書もあわせて参照し、危険のないよう注意してください。

目次【CONTENTS】

１．テクノテスターReport とは
（１）概要 1
（２）動作環境 1

２．テクノテスターReport のインストール 1

３．測定データの取り込み
（１）テクノテスター（試験機）とパソコンの接続 2
（２）テクノテスターReport の起動 2
（３）初期設定 3
（４）データの取り込み 5

４．測定結果ファイル
（１）保存先、ファイル名について 8
（２）出力データ内容 8

５．終了方法 １０

６．各種設定変更方法
（１）通信ポート、ボーレートの設定（手動および自動設定） １０
（２）測定結果ファイル保存先フォルダの設定 １１
（３）テクノテスター（試験機）の日時設定 １１

７．エラーメッセージと対処方法 １２

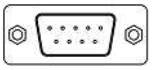
８．保証とアフターサービス １３

１．テクノテスターReport とは

（１）概要

本製品は、データ蓄積機能をもったテクノテスターの測定データをパソコンに取り込み、Excel ワークシートとして保存し報告書の作成をするためのソフトウエアです。

（２）動作環境

O　S	Microsoft Windows XP SP2 以上
アプリケーション	Microsoft Excel 2000～2003 のいずれかがインストールされていること
パソコンとの接続	ＲＳ-232Ｃ（D-SUB 9 ピン） ※USB シリアル変換ケーブル（市販品）を用いる事で USB ポートに接続が可能  D-SUB（9 ピン）

２．テクノテスターReport のインストール

CD-ROM の「TechnoTester」フォルダ内の以下のファイルを PC 上の任意のフォルダ内にコピーしてください。

・ テクノテスターReport.xls
・ TechnoTester_reportTMP.xlt

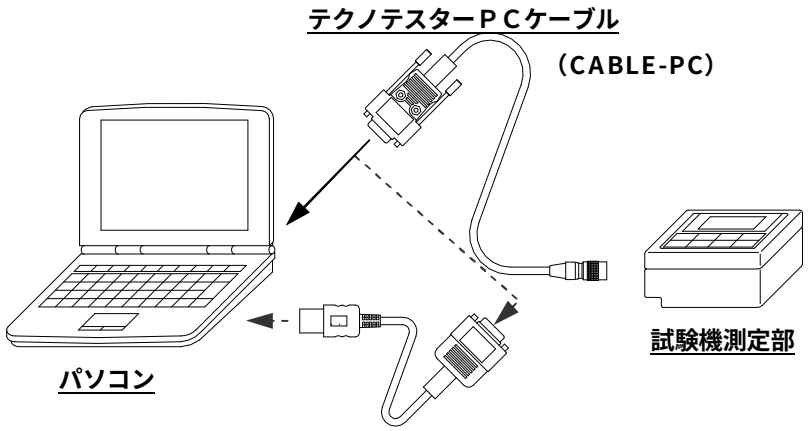
※ 上記の２つのファイルは必ず同じフォルダ内にコピーしてください。
あらかじめ、Microsoft Excel 2000～2003 のいずれかがインストールされている必要があります。

３．測定データの取り込み

（１）テクノテスター（試験機）とパソコンの接続

下図のようにテクノテスターの測定部とパソコンをテクノテスターＰＣケーブルで接続します。

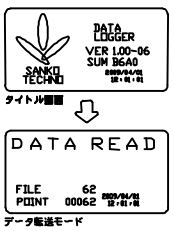
※ パソコン側にテクノテスターＰＣケーブルを差し込むためのＲＳ-232Ｃ（D-SUB 9 ピン）ポートがパソコンについてない場合は、別途ＵＳＢシリアル変換ケーブル（市販品）をご購入していただき、ＵＳＢポートへ接続をしてください。



（２）テクノテスターReport の起動

① テクノテスターとＰＣの接続を確認します。
接続していない場合は、上記の図をご参照し接続を行ってください。

② テクノテスターをデータ転送モードにします。
電源が切れている状態で、［データ蓄積 開始／終了］ボタンを押しながら［電源］ボタンをしばらく押し続けると、タイトルが表示されます。
タイトル表示中もしばらく［電源］ボタンを押し続けると「データ転送モード」になります。

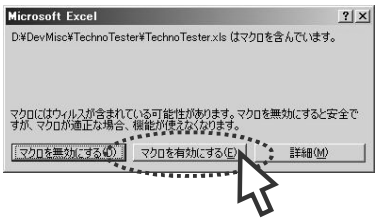


③ テクノテスターReport を起動します。起動するためには、ファイル名［テクノテスターReport.xls］をダブルクリックします。

[テクノテスターReport.xls]をダブルクリック

④ Excel が起動し以下のダイアログが表示されますので、「マクロを有効にする」ボタンを押してください。

※ Excel のマクロセキュリティーのレベルが“中”になっている必要があります。レベルの変更については、Excel のヘルプ等をご参照ください。



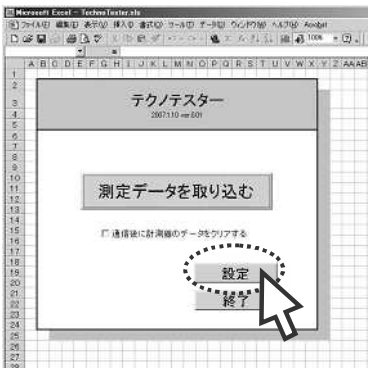
[マクロを有効にする]をクリック

⑤メインメニューが表示されます。

（3）初期設定

初回起動時には初期設定としてテクノテスターとパソコンとの通信設定および測定結果ファイル保存先フォルダの設定を行う必要があります。

①メインメニューの**「設定」**ボタンを押してください。



[設定]ボタンをクリック

②設定ダイアログが開きます。

※ テクノテスターとパソコンをテクノテスターPC ケーブルで接続し、テクノテスターがデータ転送モードになっている必要があります。

通信設定を行います。
「自動設定」ボタンを押してください。

[自動設定]ボタンをクリック

③テクノテスターの検索が開始されます。
しばらくお待ちください。

※「中断」ボタンで処理を中断できます。

測定器検索表示画面

④測定結果ファイル保存フォルダの設定を行います。
「参照」ボタンを押してください。

「参照」ボタンをクリック

⑤フォルダ選択ダイアログが開きます。
測定結果ファイルを保存する任意のフォルダ
を選択後、「OK」ボタンを押してください。

任意のフォルダをクリック
し、[OK]ボタンをクリック

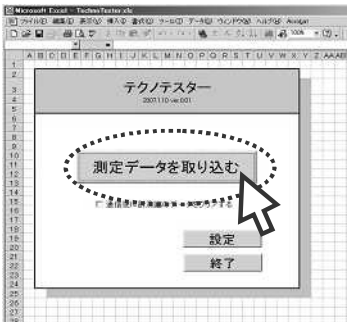
⑥「設定完了」ボタンを押すと保存フォルダの
設定が確定し、ダイアログが閉じます。

「設定完了」ボタンをクリック

以上で初期設定が完了しました。
詳細な設定につきましては、P.10 「6.各種設定変更方法」をご参照ください。

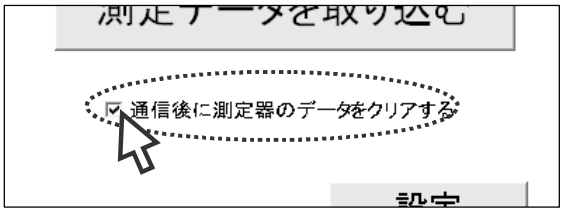
（4）測定データ取り込み

① メインメニューで**「測定データを取り込む」**ボタンを押す。



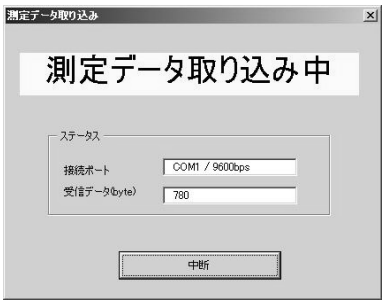
「測定データを取り込む」
ボタンをクリック

※ **「通信後に測定器のデータをクリアする」チェックボックスにチェックを入れた場合は、測定データ取り込み後、テクノテスター測定部に記録されている測定データが消去されます。**



② 測定データの取り込みが開始されます。
しばらくお待ちください。

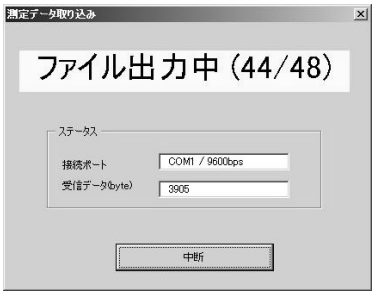
※**「中断」**ボタンで処理を中断できます。



測定データ取り込み時表示画面

③取り込み後、Excel ファイルが出力されます。

※「中断」ボタンで処理を中断できます。



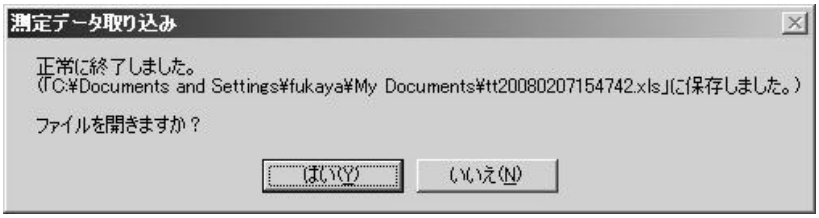
ファイル出力時表示画面

※ファイルの上書き保存確認

すでに同名のファイルが存在する場合は、上書き保存の確認ダイアログが開きます。
「はい」を選択すると、上書き保存されます。
「いいえ」を選択すると、ファイル選択ダイアログが開きますので他のファイル名を入力してください。ファイル選択ダイアログ上でキャンセルを押すと、出力は中断されメインメニューにもどります。

④ 測定データ削除確認メニューが表示されます。
ファイルの出力が完了すると、測定器（テクノテスター）のデータを削除するか確認が行われます。
「はい」を選択すると測定器（テクノテスター）のデータがクリアされます。
「いいえ」を選択すると測定器（テクノテスター）のデータはクリアされません。

⑤ 測定データの取り込みが完了しますと**「正常に終了しました」**とダイアログが表示されます。
また、出力されたファイルのファイル名も表示されます。
ここから出力したファイルを開くことができます。



「はい」ボタンを押すとファイルを開きます。
「いいえ」ボタンを押すとそのままメインメニューに戻ります。

以上で取り込みは完了です。
取り込まれたファイルについては、P.8「4.測定結果ファイル」をご参照ください。

４．測定結果ファイル

（１）保存先、ファイル名について

測定データは、初期設定で設定したフォルダに保存されます。
ファイル形式は、Excel ワークシートとなります。
ファイル名は次の形式になります。

【ファイル名形式】

TechnoTester_○○○○△△□□.xls

TechnoTester_　･･･ 固定
○○○○　　･･･年(4 桁)
△△　　･･･月(2 桁)
□□　　･･･日(2 桁)

※ 日時は、測定データ取り込み時点の日時です。

例) 2009 年 4 月 25 日に測定データを取り込んだ場合 TechnoTester_20090425.xls と保存されます。

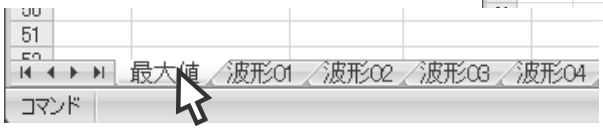
（２）出力データ内容

①最大値蓄積データ

荷重最大値・変位値（荷重最大時）は、１シート目にまとめて記載されます。荷重試験モードでの変位値は 0.00mmとなります。

※ テクノテスターのポイントデータ（Pxxxxx）が取り込まれます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	最大値蓄積データ						
2	RF00						
3	No	日 付	時 刻	荷重 最大値	荷重 単位	荷重最大時の 変位値	変位 単位
4	1	2009/4/22	11:06:27	27.8	kN	0.88	mm
5	2	2009/4/22	11:07:19	26.3	kN	0.86	mm
6	3	2009/4/22	11:08:12	28.9	kN	0.87	mm
7	4	2009/4/22	11:09:49	29.6	kN	0.89	mm
8	5	2009/4/22	11:10:48	27.7	kN	0.88	mm
9	6	2009/4/22	11:11:35	27.4	kN	0.9	mm
10	7	2009/4/22	11:12:58	29.1	kN	0.9	mm
11	8	2009/4/22	11:14:13	28.3	kN	0.9	mm
12	9	2009/4/22	11:15:31	28.9	kN	0.91	mm
13	10	2009/4/22	11:23:55	28	kN	0.74	mm
14	11	2009/4/22	11:24:37	26.6	kN	0.92	mm
15	12	2009/4/22	11:25:22	28	kN	0.93	mm
16	13	2009/4/22	11:26:22	28.9	kN	0.95	mm
17	14	2009/4/22	11:27:14	29	kN	0.93	mm
18	15	2009/4/22	11:28:04	28	kN	0.92	mm
19	16	2009/4/22	11:29:07	26.4	kN	0.86	mm
20	17	2009/4/22	11:29:51	27.5	kN	0.91	mm
21	18	2009/4/22	11:30:33	29.1	kN	0.9	mm
22	19	2009/4/22	11:31:13	28.2	kN	0.89	mm
23	20	2009/4/22	11:31:55	28.7	kN	0.91	mm

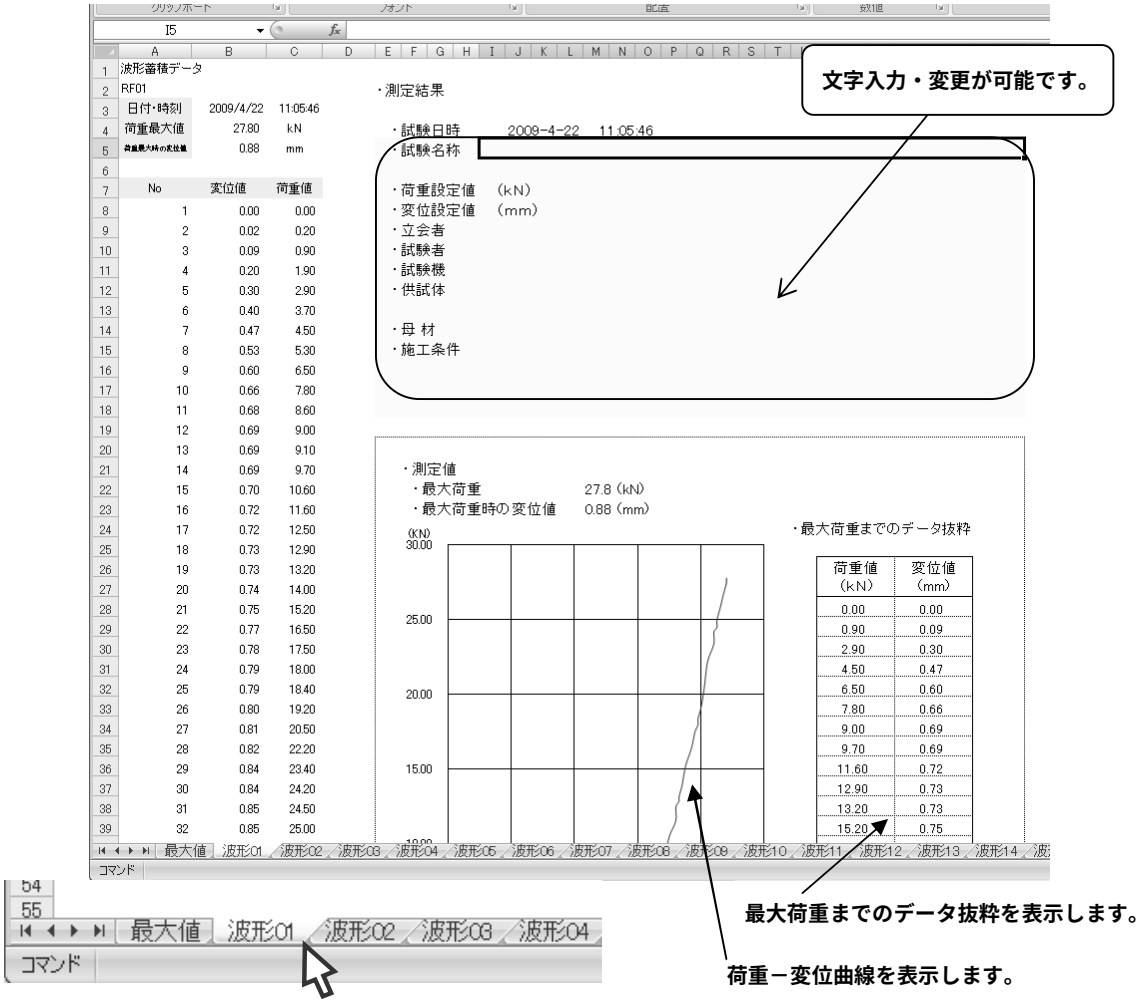


※ 出力された Excel ファイルはデータの改ざん防止のためプロテクトをかけております。ただし、行右の空白セル（列"H"以降）はロック解除をしてありますので、メモ等の追記が可能です。

②波形蓄積データ

波形 01～（2～100 シート目）に１回の測定データが、１シートに記載されます。

※ テクノテスターのグラフデータ（Fxx）が取り込まれます。



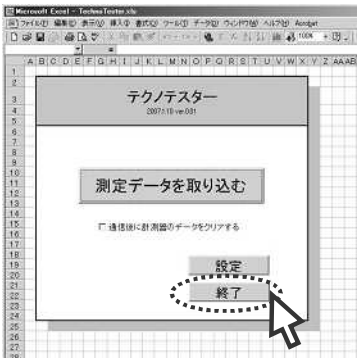
※ 出力された Excel ファイルはデータの改ざん防止のためプロテクトをかけております。
ただし、行右の空白セル（列"AE"以降）はロック解除をしてありますので、メモ等の追記が可能です。

５．終了方法

Excel をそのまま閉じてください。

また、メインメニューの「終了」ボタンを押すことで本ソフトのワークシートを閉じることができます。(Excel 自体は終了しません)

[閉じる]ボタンをクリック



[終了] ボタンをクリック

６．各種設定変更方法

メインメニューで「設定」ボタンを押すと設定ダイアログが表示されます。
設定ダイアログでは、以下の設定が可能です。

（1）通信ポート、ボーレートの設定（手動および自動設定）
（2）測定結果ファイル保存先フォルダの設定
（3）テクノテスターの時刻設定

（1）通信ポート、ボーレートの設定（手動および自動設定）

「ポート」「ボーレート」のドロップダウンリストを選択することで、設定を変更できます。
また、「自動設定」ボタンを押すことで、自動的に検索することができます。

▼のマークをクリックし、表示されたリストをクリックすることで「ポート」「ボーレート」の設定を手動で変更可能

（2）測定結果ファイル保存先フォルダの設定

「参照」ボタンを押すとフォルダ選択ダイアログが開きますので、フォルダを選択後「OK」ボタンを押してください。

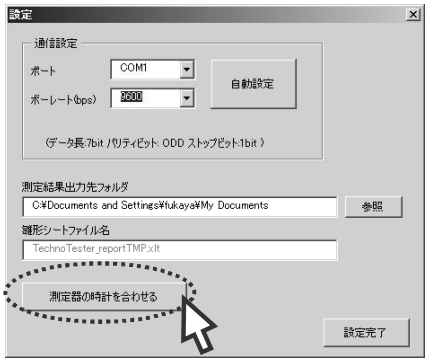
[参照] ボタンをクリック

任意のフォルダをクリックし、**[ＯＫ]**ボタンをクリック

（3）テクノテスター（試験機）の時刻設定

①「測定器の時計を合わせる」ボタンを押すと、テクノテスター（試験機）の日時を設定できます。

※ 日時は本ソフトの動作しているパソコンで設定されている時計の日時が適用されます。



[測定器の時計を合わせる] ボタンをクリック

②設定成功時は設定した日時が表示されます。

７．エラーメッセージと対処方法

エラーメッセージ	対処方法
測定データの取り込みに失敗しました。	テクノテスターとの通信に失敗しました。 ケーブルや COM ポート、ボーレートの設定を再確認してください。 ※詳細は以下のエラーで併記されます。
COM ポートを開けません。	テクノテスターとの通信用に設定されている COM ポートが存在しないか、他のアプリケーションが使用中です。 正しいポートを設定するか、他の通信アプリを終了してください。
測定器から受信したデータに異常があります。 測定データに不整合箇所がありました。	テクノテスターから取り込んだデータに異常があります。通信中の文字化けやケーブル不良などが原因となります。再度、取り込み操作をやり直してください。
測定器からの応答に異常があります。	テクノテスターの測定データクリアや時刻設定時に正しい応答がない場合発生します。 通信中の文字化けなどが原因となります。再度、操作をやり直してください。
測定器は見つかりませんでした。	テクノテスターの COM ポート自動設定時にテクノテスターが発見できなかった場合に発生します。 ケーブルやテクノテスターのモード（データ転送モードである必要があります）を再確認してください。
Excel ファイル出力中にエラーが発生しました。	測定データの保存時にエラーが発生しました。保存先のフォルダへハードディスク容量を再確認してください。
測定データクリアに失敗しました。	テクノテスターの測定データクリア処理に失敗しました。
セキュリティ警告がでる。	Excel のマクロセキュリティレベルが “ 中 ” になっている必要があります。レベルの変更については、Excel のヘルプ等をご参照ください。

８．保証とアフターサービス

◎保証期間について

製品購入日から 1 年間は、弊社の製造上の問題に起因することが明らかな不良については、無償で製品を交換または修理いたします。

◎保証範囲外の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご依頼により、有償修理いたします。

◎修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときには、保証範囲の内外にかかわらず、できるだけ詳しい故障の症状を、弊社の支店・営業所までお知らせください。

メモ

発売元 **サンコーテクノ株式会社**

本　社／〒270-0114　千葉県流山市東初石 6-183-1

お客様相談窓口（販売・取扱い）TEL 0120-350-514　FAX 0120-350-571
（フリーダイヤル）　受付時間:祝日を除く月曜日～金曜日　9:00～17:00

サンコーテクノホームページ http://www.sanko-techno.co.jp/

首都圏営業	〒270-0163 千葉県流山市南流山3-10-7	TEL 04-7157-8181	FAX 04-7157-8787
札幌支店	〒003-0012 北海道札幌市白石区中央二条6-4-18	TEL 011-865-6251	FAX 011-865-6256
仙台支店	〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-2-8	TEL 022-236-2533	FAX 022-236-2537
名古屋支店	〒454-0869 愛知県名古屋市中川区荒子2-128-3	TEL 052-355-3501	FAX 052-355-3502
大阪支店	〒578-0956 大阪府東大阪市横枕西6-23	TEL 072-960-7735	FAX 072-960-7737
福岡支店	〒816-0912 福岡県大野城市御笠川4-11-24	TEL 092-587-0188	FAX 092-504-7300
新潟営業所	〒955-0092 新潟県三条市須頃3-31	TEL 0256-32-7428	FAX 0256-32-7429
横浜営業所	〒240-0002 神奈川県横浜市保土ヶ谷区宮田町1-3-1	TEL 045-340-3517	FAX 045-334-0071
静岡営業所	〒422-8035 静岡県静岡市駿河区宮竹2-3-48	TEL 054-237-0102	FAX 054-237-2917
金沢営業所	〒920-0363 石川県金沢市古府町南297	TEL 076-240-3535	FAX 076-240-7286
岡山営業所	〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田564-232	TEL 086-296-8031	FAX 086-296-8130
広島営業所	〒730-0844 広島県広島市中区舟入幸町16-15	TEL 082-294-3308	FAX 082-294-3306
高松営業所	〒761-8044 香川県高松市円座町391-5	TEL 087-885-7431	FAX 087-885-7430
建材営業所	〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚8-10-33	TEL 092-611-0020	FAX 092-611-9266
鹿児島営業所	〒892-0836 鹿児島県鹿児島市錦江町8-53	TEL 099-225-8311	FAX 099-225-8328
沖縄営業所	〒901-0153 沖縄県那覇市字宇栄原1046	TEL 098-859-7411	FAX 098-859-7415
ﾘﾆｭｰｱﾙ工事部	〒270-0163 千葉県流山市南流山3-10-7	TEL 04-7157-7735	FAX 04-7157-8835
ﾏﾃﾘｱﾙ営業部	〒270-0163 千葉県流山市南流山3-10-7	TEL 04-7157-9935	FAX 04-7157-9700
流山事業所	〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-44	TEL 04-7152-5111	FAX 04-7155-1684
野田工場	〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬2490-3	TEL 04-7198-1711	FAX 04-7198-3733
奈良工場	〒630-8452 奈良県奈良市北之庄西町2-2-3	TEL 0742-62-4581	FAX 0742-62-4583
中央物流ｾﾝﾀｰ	〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-44	TEL 04-7153-8611	FAX 04-7152-7877
西部物流ｾﾝﾀｰ	〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田564-232	TEL 086-296-8317	FAX 086-296-8052

USBシリアルコンバータ

REX-USB60F

インストールガイド

2009年09月
第1.0版

ラトックシステム株式会社
RATOC Systems, Inc.

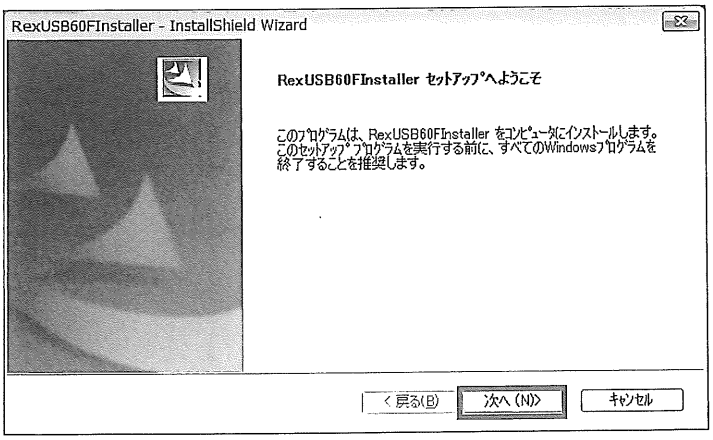
※ Windows 2000/Me/98SE、MacOS、PDAでご利用のお客様は、
製品添付CD-ROM内のManual¥USB60F_xx.pdfをご参照ください。

1 Windows 7でのインストール

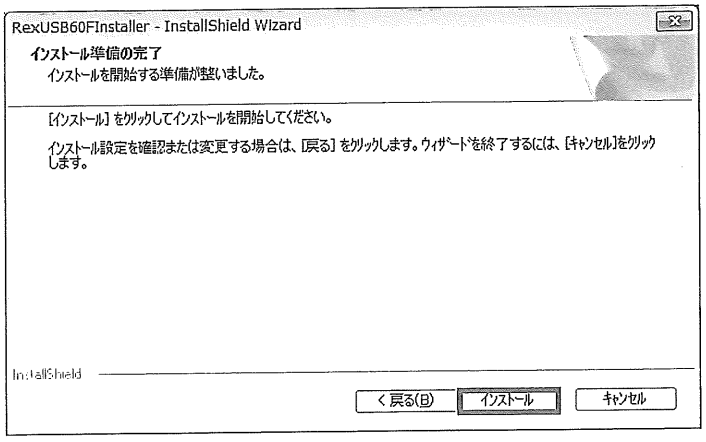
**Windows 7ではREX-USB60Fを接続する前に
下記セットアップ作業を行ってください。**

1. 製品添付CD-ROMの[CD-ROM]¥Win7フォルダ内の
USB60F_Setup.exeを実行します。
ユーザアカウント制御の画面で「はい(Y)」をクリックします。

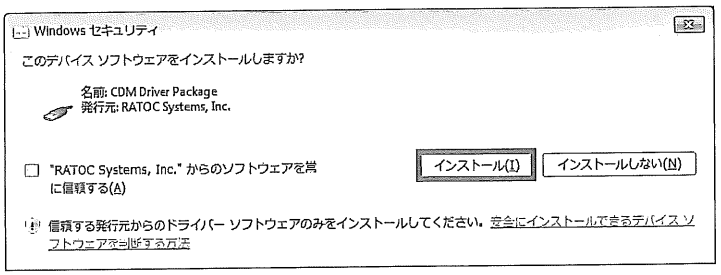
2. セットアップ開始の画面で「次へ(N)」をクリックします。



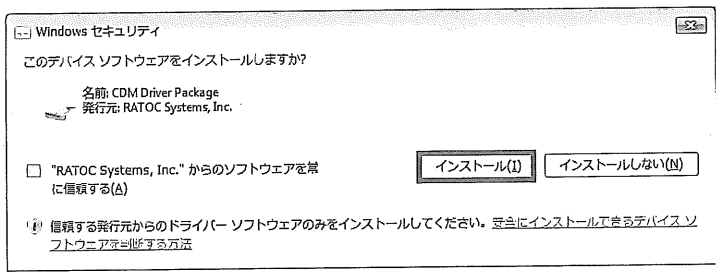
3. 「インストール準備の完了」の画面で「インストール」をクリックします。



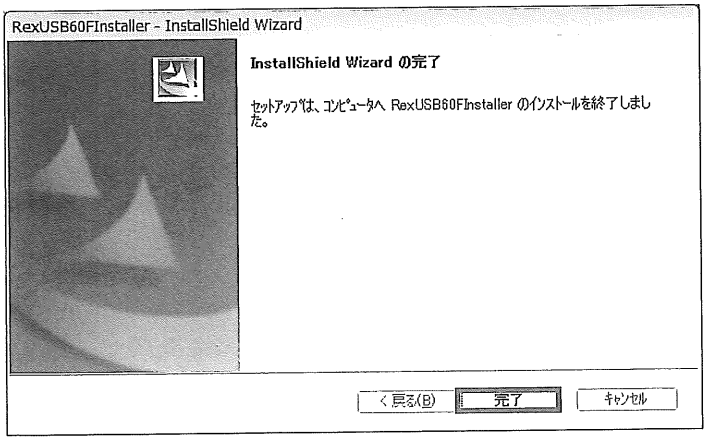
4. 「このデバイスソフトウェアをインストールしますか?」で「インストール(I)」をクリックします。(USB-Serial Converterのインストール)



5. 「このデバイスソフトウェアをインストールしますか?」で「インストール(I)」をクリックします。(USB Serial Portのインストール)



6. 以上でインストール作業は完了です。
REX-USB60FをPCのUSBポートへ接続すると自動的にインストールされます。

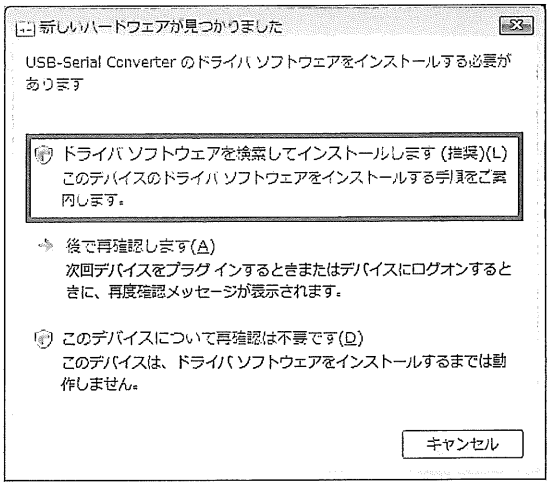


2 Windows Vista/Server2008でのインストール

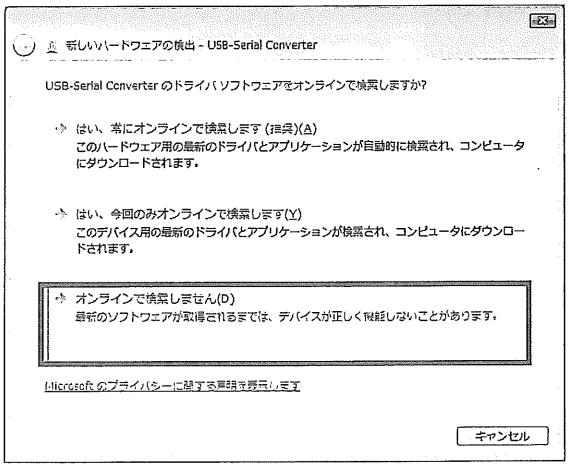
ここでは、本製品をWindows Vista/Server2008でご使用いただくためのドライバソフトウェアのインストール方法を説明します。
インストールは2段階で行われます。最初にREX-USB60F用のUSBデバイスドライバがインストールされ、引き続き仮想COMポートドライバがインストールされます。

<USB-Serial Converterのインストール>

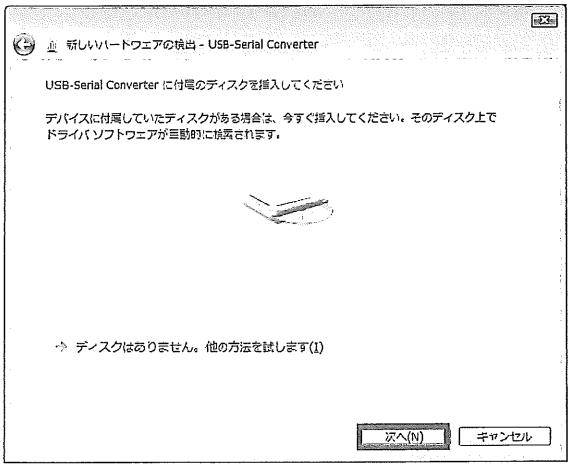
1. 製品添付CD-ROMをCDドライブへ入れ、REX-USB60FをPCのUSBポートへ接続してください。
「USB-Serial Converterのドライバソフトウェアをインストールする必要があります」で「ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)(L)」をクリックします。



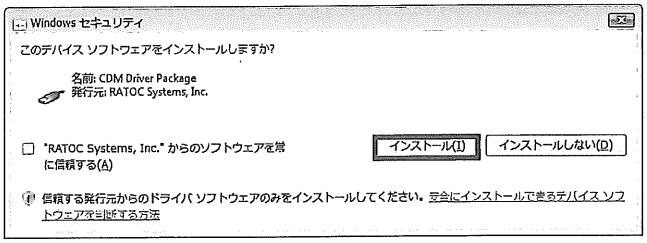
2. 「USB-Serial Converterのドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか？」が表示される場合は「オンラインで検索しません(D)」をクリックします。



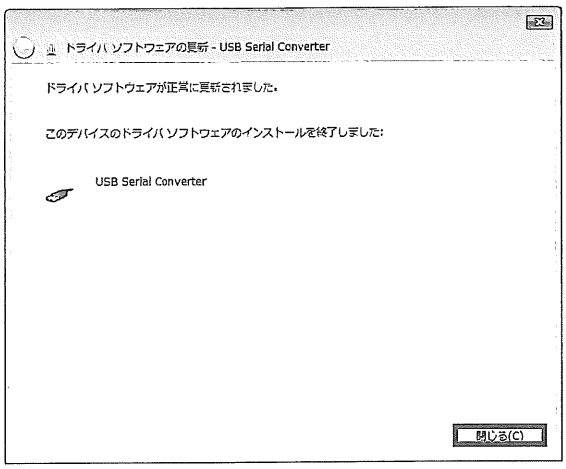
3. 「USB-Serial Converterに付属のディスクを挿入してください」でREX-USB60Fドライバディスクが挿入されていることを確認し「次へ(N)」をクリックします。



4. 「このドライバソフトウェアをインストールしますか」で「インストール(I)」をクリックします。



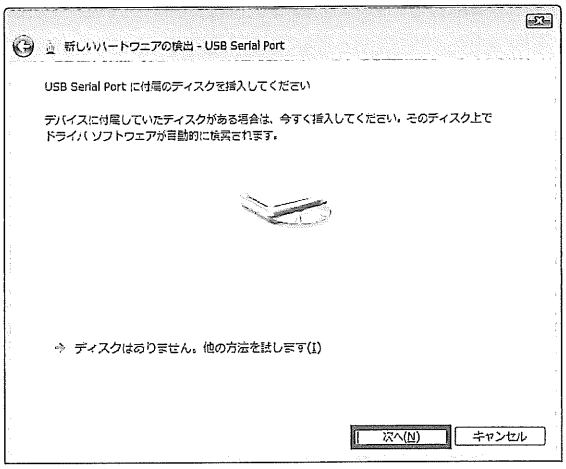
5. 以上でUSB Serial Converterのインストールは完了です。



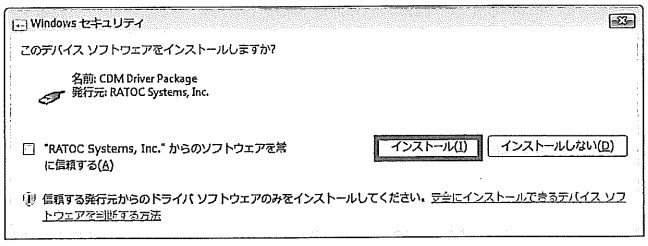
次に「USB Serial Port」のインストールウィザードが起動します。

<USB Serial Portのインストール>

6. 「USB Serial Portに付属のディスクを挿入してください」で「次へ(N)」をクリックします。

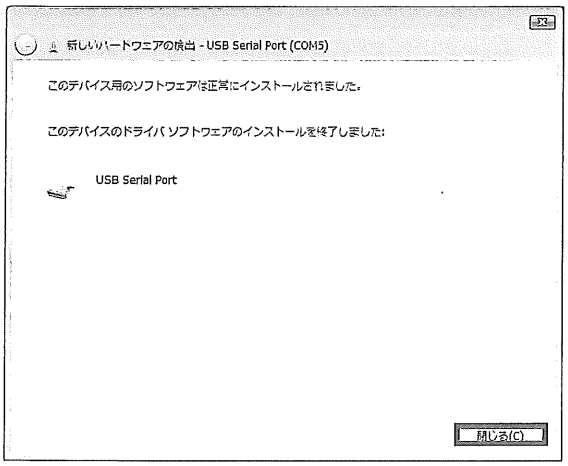


7. 「このドライバソフトウェアをインストールしますか」で「インストール(I)」をクリックします。



(裏面に続きがあります)

8. 以上でUSB Serial Portのインストールは完了です。

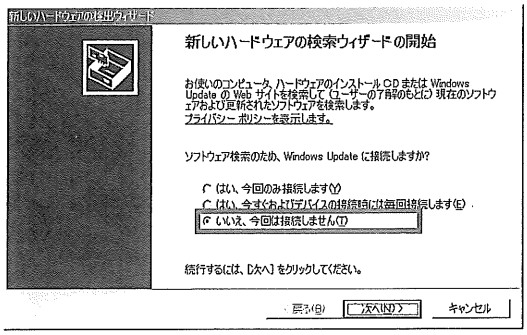


3 Windows XP/Server2003でのインストール

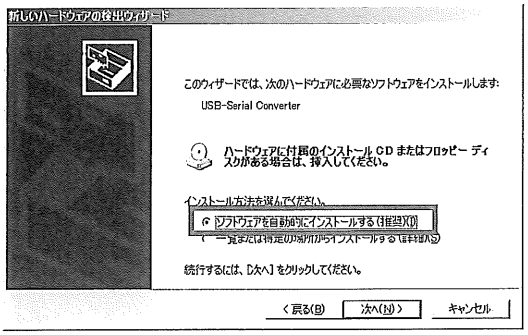
ここでは、本製品をWindows XP/Server2003でご使用いただくためのドライバソフトウェアのインストール方法を説明します。
インストールは2段階で行われます。最初にREX-USB60F用のUSBデバイスドライバがインストールされ、引き続き仮想COMポートドライバがインストールされます。

〈USB-Serial Converterのインストール〉

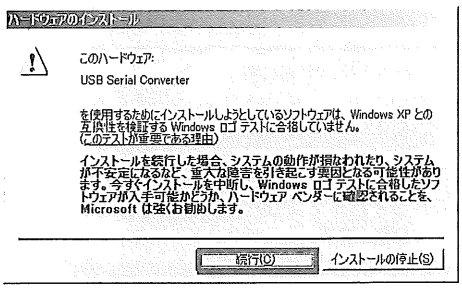
1. 製品添付CD-ROMをCDドライブへ入れ、REX-USB60FをPCのUSBポートへ接続してください。
「新しいハードウェアの検索ウィザード」で「ソフトウェア検索のため、Windows Updateに接続しますか？」が表示される場合は「いいえ、今回は接続しません(T)」を選択し、「次へ(N)」をクリックします。



2. 「インストール方法を選んでください。」で「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(I)」を選択し、「次へ(N)」をクリックします。



3. 「…Windowsロゴテストに合格していません。」と表示されますが、「続行(C)」をクリックします。

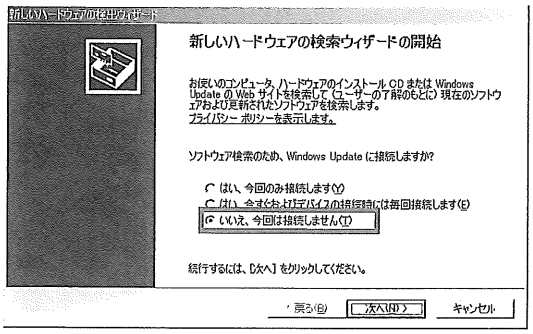


4. 以上でUSB Serial Converterのインストールは完了です。

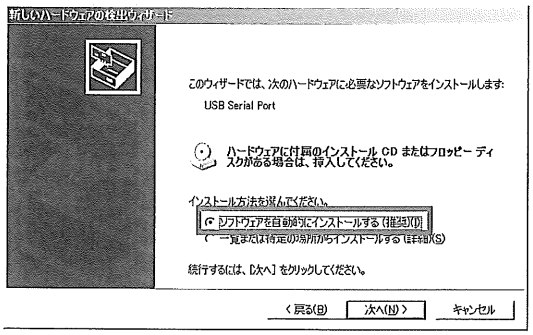
次に「USB Serial Port」のインストールウィザードが起動します。

〈USB Serial Portのインストール〉

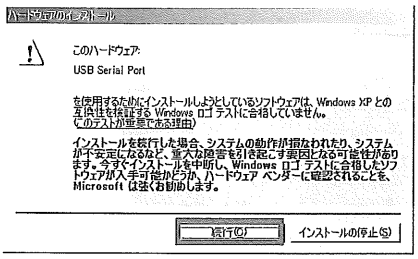
5.「新しいハードウェアの検索ウィザード」で「ソフトウェア検索のため、Windows Updateに接続しますか？」が表示される場合は「いいえ、今回は接続しません(T)」を選択し、「次へ(N)」をクリックします。



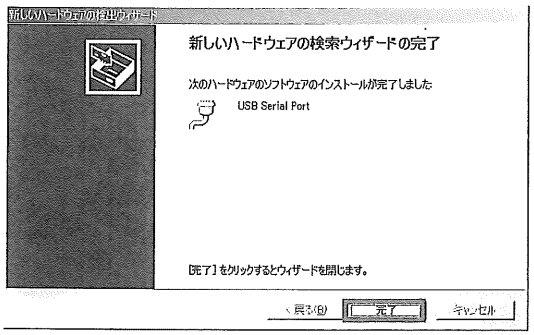
6.「インストール方法を選んでください。」で「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(I)」を選択し、「次へ(N)」をクリックします。



7.「…Windowsロゴテストに合格していません。」と表示されますが、「続行(C)」をクリックします。



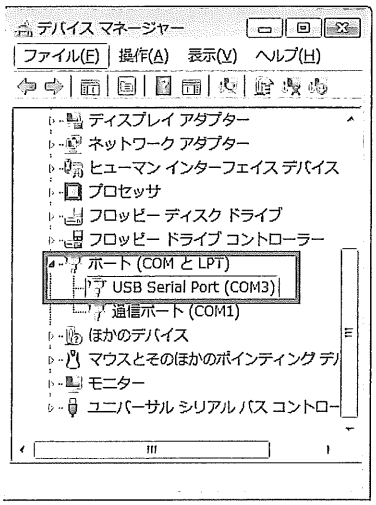
8. 以上でUSB Serial Portのインストールは完了です。



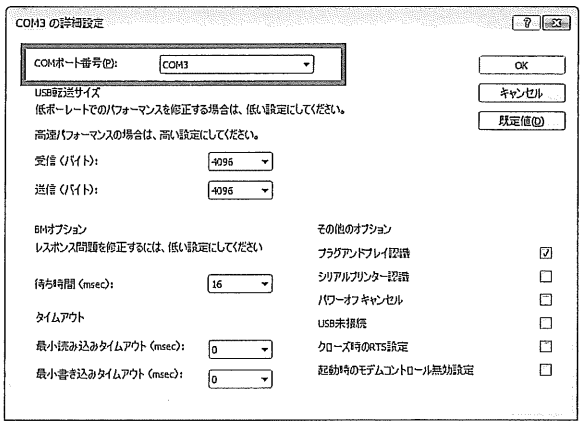
インストールの確認
(Windows 7/Vista/XP/Server2008 Server2003)

ドライバのインストールが正常に行われているかの確認を行います。
コントロールパネルのデバイスマネージャを開き「デバイスマネージャ」を選択します。
(Windows 7/Vista以外のOSでは、システムを開き、「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」を選択します。)

「ポート(COM/LPT)」の下に仮想COMポートドライバ「USB Serial Port (COMx)」がCOMポートとして追加されていればインストールは正常に行われています。



COMポート番号を変更する場合は、「USB Serial Port(COMx)」をダブルクリックし、プロパティ画面の「ポートの設定」タブを選択、「詳細設定(A)」ボタンをクリックします。
表示された「COMxの詳細設定」画面の「COMポート番号(P)」より変更を行うことができます。



RATOC Systems, Inc.